



学校だより
**桜っ子
通信**

校訓
自ら学び
自ら考え
自ら行う

令和5年11月14日 第95号
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

第77回 小音会に出場して

11月7日(火)から9日(木)までの3日間の日程で、第77回 長崎市小学校音楽会(小音会)が長崎ブリックホールで開催されました。令和2年度、及び、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、長崎市小学校長会は、この小音会を中止することを苦渋の思いで決断いたしました。昨年度は、3年ぶりに小音会を復活することができました。そして、本年度から、保護者の皆様にも、子どもたちの輝く姿を見ていただくことができるようになり、心から嬉しく思っております。当日はご多忙の中にもかかわらず、多くの保護者の皆様に会場にお越しいただき、感謝申し上げます。

桜町小学校は4年生が学校代表として、初日の午前の部に出場し、4年1組が「きらきら」、4年2組が「空高く」、4年3組「みんなみんな輝いてる」を合唱しました。どの学級の子どもたちも、これまでの練習の成果を発揮し、美しい歌声を会場に響かせることができました。出番前は、とても緊張していた子どもたちでしたが、合唱を終えて、満足した表情がとても印象的でした。また、他の小学校の合奏や合唱を聴いて、音楽の楽しさや素晴らしさに触れることもできていました。4年生の子どもたちは、今回の小音会を終えて、それぞれ振り返っていました。以下に、4年生を代表して、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんの振り返りを掲載しておりますので、ご一読ください。

私は、小音会でピアノを弾きました。最初は、弾き間違いが多かったけど、練習を重ねていくごとに、間違いは減っていきました。本番当日、私たちの順番になりました。いざステージに立ってみると、すごく緊張しました。手汗もいっぱいかきました。でも、「必ず弾けるはず」と思って弾きました。結果は、間違いは何度かあったけど、最後まで諦めずに弾くことができて、私にとって、悔いのない、最高の小音会となりました。(〇〇〇〇さん)

私が小音会で学んだことは、「やらないと、自分じゃ分からない気持ちがある。」ということです。例えば、やる前は緊張するけど、やった後は、がんばってよかったとか、とても楽しかったと思うからです。私は、今回の小音会で、みんなで歌えて、すごい体験ができたなと思いました。練習では、大きく口を開けて、大きくきれいな声を出し、笑顔で歌うことを意識しました。桜っ子くんちも、楽しくがんばります!(〇〇〇〇さん)

ぼくのクラスは、小音会で「みんなみんな輝いてる」を歌いました。練習を始めたころは、恥ずかしくて大きな声で歌えなかったけど、本番では、大きな声で歌うことができたので、よかったです。見に来たお母さんから「笑顔で歌っていたから、見ているお母さんも楽しい気持ちになったよ。」と言われました。ぼくの笑顔はみんなを元気にする力があるようなので、これからの学校生活で、元気にたくさん挨拶していきます。(〇〇〇〇さん)

(一部のひらがなを漢字に変換しています。)

すてきなリースができました!

1年生教室横のオープンスペースの壁に、1年生が作成したリースが飾ってあります。このすてきなリースは、1年生が生活科の「はなや やさいと なかよし」の学習の一環として、5月に種まきをしたアサガオのつるを使って作ったものです。

1年生の先生によると、花が咲いて、種を取った後の枯れたアサガオに、水を欠かさずやり続けると、つるが固く、もろくならず、柔らかく、折れにくく、細工がしやすいそうです。1年生の子どもたちが、夏休みの間も、しっかりと水やりをやったおかげで、リースの芯材として活用することができました。子どもたちは、このつるの芯材に思い思いの飾りやリボンを楽しそうに付けていました。まもなく、世界に一つだけのすてきなリースを持ち帰りますので、楽しみにお待ちください。



11月19日(日)に開催する桜っ子くんちは、3部構成で実施しますが、全学年、通常時刻の集団登校、及び、下校時刻については、全学年、12時30分開始となっておりますので、ご注意ください。